

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等

1. 日時：2018年11月17日(土) 13時～18時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

- 13時～15時 本人交流会（通常）
15時～18時 本人交流会（当事者グループ貸し切り）

3. 当日の様子

参加者数 18人（内訳：当事者 5名、家族 8名、専門職 4名、一般 1名）

4. 様子

前半の通常のカフェではご利用のかたはいらっしゃいませんでしたが、後半の当事者グループの活動では15名の参加を頂きました。そこに、最近ご相談のあったご本人とご家族に、当事者グループの活動に参加頂きました。また、今回の当事者グループの活動には、イギリスから見学者のかたがおり、ボランティア通訳の支援もあって、様々な交流がありました。日本の認知症施策を学ばれており、東京で沖縄の当事者グループの活動を知って、問い合わせされていました。当事者グループの皆さんは、本日、素敵なRUN伴沖縄の応援旗を作成されていました。

色々な事があったカフェでした。



次回開催：平成 30 年 12 月 15 日（土）13 時～15 時 担当中野